

もっと
すごい!

PORT OF HACHINOHE



2016年3月発行

NO. 42



ポード博士

今号の
主な記事

P1 / 米タコマ港との経済貿易協定の延長
P2 / 八戸港・北米交流ミッション 2015
P3 / 新規国際コンテナ航路開設
八戸 LNG ターミナル営業運転開始
P4 / 八戸市海外経済協力員レポート

P5 / 青森県産品フェア (シアトル・ロス・ハワイ)
P6 / 八戸港コンテナ貨物取扱量 過去最高記録を更新
P7 / 海外販路開拓における登録と
認証の事例 (ジェットロ青森)
P8 / 航路情報・八戸港管理所みなと通信



ハチョウ

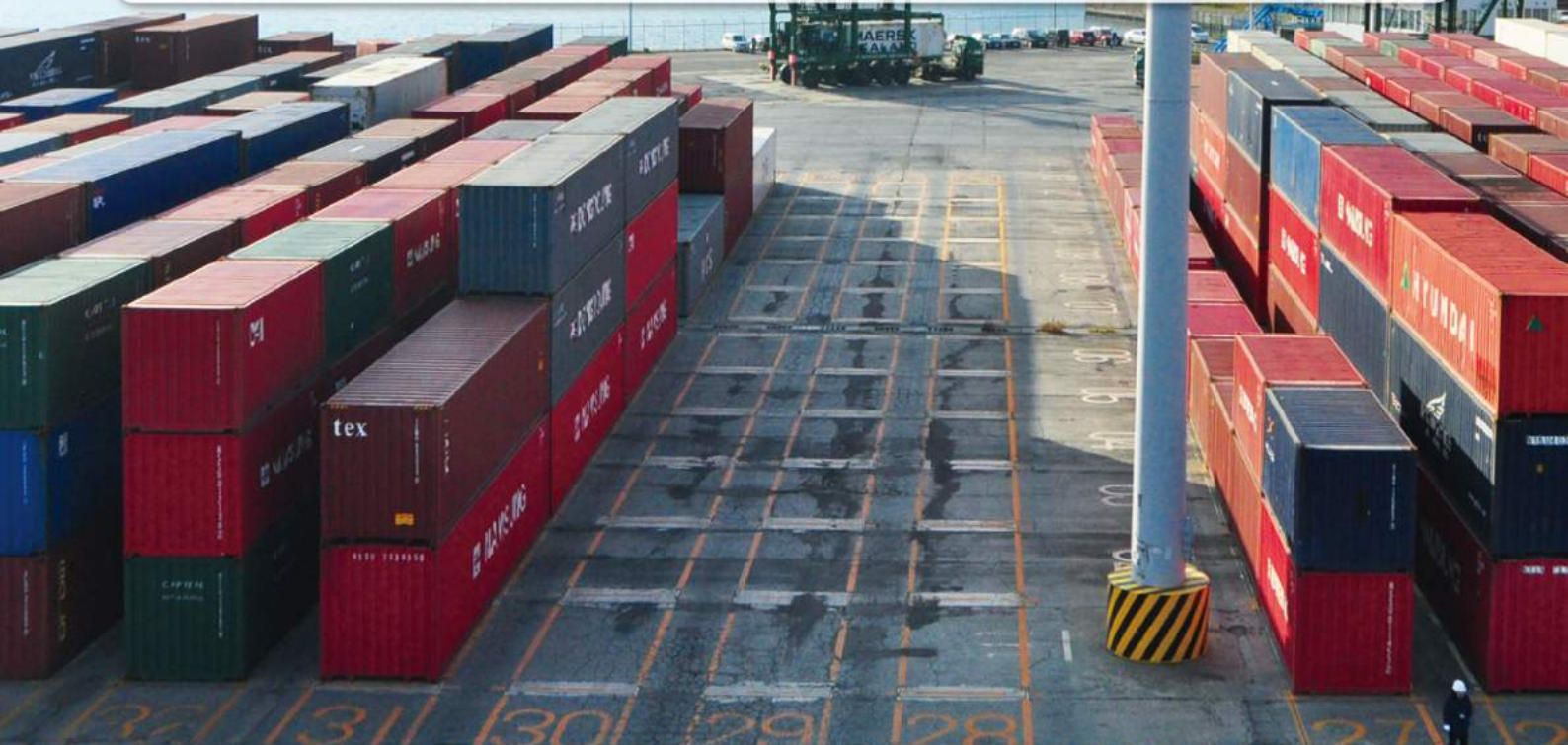
米タコマ港との経済貿易協定の延長に調印



〈写真〉 調印を交わした小林眞八戸市長、櫻庭憲司県土整備部長、タコマ港湾局ドン・ジョンソン港湾委員長、同ジョン・ウォルフ局長、ほか関係者との記念撮影

2015年6月30日、八戸市長を団長とする八戸港・北米交流ミッション団が米国ワシントン州タコマ市を訪れ、両港の経済貿易協定の延長に調印しました。

協定は、1995年に両港を結ぶ航路開設などを目指して締結され、以後5年ごとに更新しており、締結から20周年の節目の年となりました。



八戸港・北米交流ミッション2015を実施

八戸港国際物流拠点化推進協議会と八戸市、青森県では、2015年6月27日から7月4日までの日程で「八戸港・北米交流ミッション2015」を実施し、当協議会の会長である八戸市長を団長として、米国のシアトル市、ピュアラップ市、タコマ市、ロサンゼルス市を訪問しました。

在シアトル日本国総領事館やジェットロ・ロサンゼルス事務所、タコマ・ピアスカウンティ商業会議所などの関係機関を表敬訪問したほか、宇和島屋(うわじまや)、ミツワ・コーポレーション、マルカイ・コーポレーションといった日系スーパーマーケットを訪れ、現地における消費者の反応や販売状況を視察してきました。

ピュアラップ市にある米国の船会社であるウエストウッド・ SHIPPING・ライNZ本社では、2009年以降休止となっている八戸港への寄港再開を要望しました。

また、八戸港の今後の整備の参考とするため、コンテナ取扱量全米1位のロサンゼルス港と8位のタコマ港を視察しました。

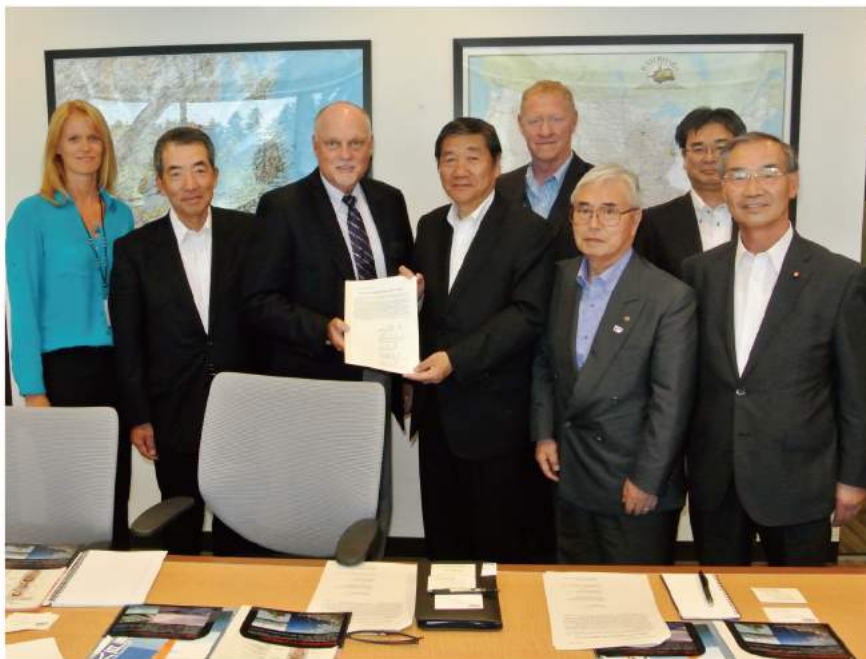
タコマ港との経済貿易協定調印式後の記念パーティ「八戸港レセプション」では、タコマ市・シアトル市の関係者らを招待し、八戸港のPRのほか、県産品の振る舞いや八戸の文化を紹介しました。

今回の訪問を機に、八戸港のより一層の国際化や貿易促進に向けて、両地域間の相互協力や経済交流を進めていきます。

沢山の関係先を
訪問したんだワン!



レセプションでの県産品お振る舞いの様子



ウエストウッド・SHIPPING・ライNZに寄港再開の要望書を手渡す小林眞八戸市長

北米との
直行便に期待じゃ!



17年ぶり八戸港に、新規国際コンテナ航路が開設



2015年10月27日、八戸港では17年ぶりとなる新たな国際コンテナ定期航路が開設されました。開設したのは長錦商船(株) (韓国、日本総代理店: 株)シノコー成本)で、釜山・釜山新港と、仙台・八戸・苫小牧・石狩港などを周る韓国航路。八戸には週1便、毎週火曜日に寄港します。

初入港となった同日には、午後からの荷役作業に先立ち、八戸港八太郎2号埠頭のコンテナターミナルに接岸したコンテナ船「SINOKOR TIANJIN (シノコー天津)」(総トン数9,038t)の前で、歓迎セレモニーを開催しました。

セレモニーで挨拶をした(株)シノコー成本の盧 鉉錫(ノ ヒョンソク)社長は「新たな荷主からの集荷活動を積極的に行い、八戸港全体のコンテナ取扱量増加に貢献する」と述べました。

新規航路の開設で、八戸港の国際コンテナ定期航路は2社・週3便体制に拡大。利便性の向上に伴い、今後より一層の八戸港利用拡大を推し進めます。



初入港した「SINOKOR TIANJIN」の前で記念撮影をする関係者

八戸LNGターミナル 営業運転開始



八戸港ポートアイランドにある八戸LNGターミナルが、2015年4月から営業運転を開始しました。4月24日には営業運転開始に伴う第1船のLNGタンカーが入港し、ターミナル構内で、当協議会による歓迎セレモニーを開催しました。八戸市の奈良岡副市長やJX日鉱日石エルエヌジー・サービス(株)の松田社長ほか関係者約50名が出席し、LNGタンカー「タングー・ヒリ」のオレグス・ドルジコフス船長に花束と記念品が手渡されました。

2015年は計5隻のLNGタンカーが入港し、12月22日には、八戸港に入港した船舶としては過去最大の総トン数となる、球形のタンクが特徴的なLNG船「グランド・アニバ」(約12万2千トン)が入港しています。



入港歓迎のセレモニーで記念撮影



球形タンク型LNG船「グランド・アニバ」接岸の様子

八戸市海外経済協力員レポート

HONG KONG 香港



しょうじうえ あきこ
文/障子上 晃子 氏

香港と言えば、食の街。香港の人たちとの挨拶も「ご飯食べた？」から始まります。そんな香港から、今回は「青森県産」についてお伝えしたいと思います。

香港での暮らしも、8年が過ぎました。2007年4月の赴任当時に比べると、香港で一番高い建物がIFC(高さ415.8m)からICC(高さ484.0m)に変わったり、夜景で有名なビクトリア湾に高速道路が拡充されたり、目に見える大きな変化がありました。しかし、それ以上に私にとって大きな変化があります。

それは、香港の人たちの反応です。「出身は青森県です。りんごで有名な所なんだけど。」と言うと、今では大抵の人が「あー！青森県りんごおいしいね！」と会話が弾みます。8年前にはなかった反応に、とても嬉しくなります。青森県産りんごの大きさ、色、味が香港の人たちにも高く評価されているようです。最近では日系スーパーで、「日本の」ではなく、産地を明記して、果物が売られるようになりました。食に対する関心の高さが、生活に身近なスーパーにも現れています。

香港にお越しの際には、ぜひ日系スーパーで青森県産りんごを見に立ち寄りてみてはいかがでしょうか。

(写真提供/森山正明氏)



色鮮やかな看板

Hachinohe

Hong Kong



日本の食材が揃う、そごうコースウェイ店



香港で一番の高さICC、
世界貿易広場
118階建てで110階には展望台も



青森県りんご
一つ約600円!



ギネスブックにも承認された
世界一長いエスカレーター

香港フードエキスポ2015へ参加

2015年8月、香港で開催された食品展示会「FOOD EXPO 2015」へ、八戸市の(株)グローバルフィールドが出展※1しました。この展示会は、東アジア最大級の国際食品見本市で、出展者数1,192(うち日本243)、バイヤー20,452人・一般客47万人が来場しました。同社は、地鶏「青森シャモロック」の加工品6点を出品し、期間中の3日間、来訪するバイヤーとの商談を行いました。バイヤーからは、出品商品はもちろんのこと、今回出品していなかった精肉や、同社が取得している「ハラル認証※2」商品への問い合わせなどもあり、手応えのある引き合いを得ることが出来ました。

香港は日本産食品の世界最大の輸出相手先であり、スーパーでは様々な日本食材が所狭しと並んでいます。その中で「青森県産品」の良さをPRし、他商品との差別化を図ることが出来るよう、今後も販路拡大に向けた協力・支援を行って参ります。

※1 八戸市が実施する「緊急雇用創出対策事業」の委託を受けて出展。

※2 ハラル認証・・・認証機関・団体による、原材料・製造工程・製品品質などの審査を経て、イスラム法で定められた「合法なもの」として承認された製品のみに表示される認証。



ブースに集まる大勢のバイヤー



ブースでの試食の様子

Seattle and Los Angeles

シアトルで青森県産品のフェア開催

2015年6月24日から30日までの7日間、米国ワシントン州シアトルにある日系スーパーマーケット「宇和島屋（うわじまや）」の4店舗（ワシントン州3、オレゴン州1）で青森フェアが開催されました。

近年、「和食」は世界的なブームとなっており、2015年にはユネスコ無形文化遺産にも登録されるなど、日本産の食料品は、その味や素材、品質、デザイン等が魅力になっています。

期間中、シアトル本店・ベルビュー店の2店舗では、青森の農水産加工品や菓子、化粧品など多くの商品を県内から渡航したメーカースタッフが直接試食・販売しました。また、和太鼓・三味線・尺八・琴の演奏や、八戸市のマスコットキャラクター「いかずきんズ」の登場などのアトラクションのほか、八戸市長等によるトップセールスも行われ、多くの来場者で賑わい、大きな販売成果がありました。

今回のフェアは、青森県輸出促進協議会（会長：(有)柏崎青果 柏崎進一社長）の主催、八戸市とジェトロ青森の共催で実施され、青森県内の14社が参加しました。米国北西部での青森県産品の販路拡大による、八戸港からの米国向け輸出拡大などが、今後ますます期待されます。

ロサンゼルスとハワイで青森フェア開催

2015年10月、アメリカカリフォルニア州ロサンゼルス市及びハワイ州ホノルル市の日系スーパーにおいて、青森フェアが開催されました。

フェアは、マルカイ・コーポレーション（本社：ロサンゼルス市）主催、青森フェア海外展開実行委員会（事務局：(株)ファーストインターナショナル）共催のもと、県内の食品関係を中心に30社以上が出品し、18社が現地での実演販売を行いました。

ロサンゼルスでは、南加ねぶた保存会によるねぶた囃子と跳人のパフォーマンスがあり、初開催ではありましたが多くの来場者で賑わいました。

また、2013年から3回目の開催となるハワイでは、フェア期間中6日間で91,000ドル以上売り上げ、これまで同店で開催された物産フェアの中で歴代2位となるなど、高評価をいただきました。

フェア期間終了後も、継続取引につながっており、既に2016年の開催も決定しています。単独ではハードルが高い海外展開において、県内企業がグループを組み、青森県産品の発信に尽力していることから、今後におけるフェアの盛り上がりがますます期待されています。

Seattle

Los Angeles

青森の
おいしいものを
どんどん世界に
広めるぞい!



宇和島屋ベルビュー店 店頭の様子



シアトル本店内
いかずきんズは子供たちに人気



シアトル本店内でのフェアの様子



南加ねぶた保存会によるねぶた囃子と跳人のパフォーマンス

大にぎわい
だワン!



フェアに参加した県内企業の皆様



ハワイの日系ラジオ局によるインタビュー



ハワイ店での試食販売の様子



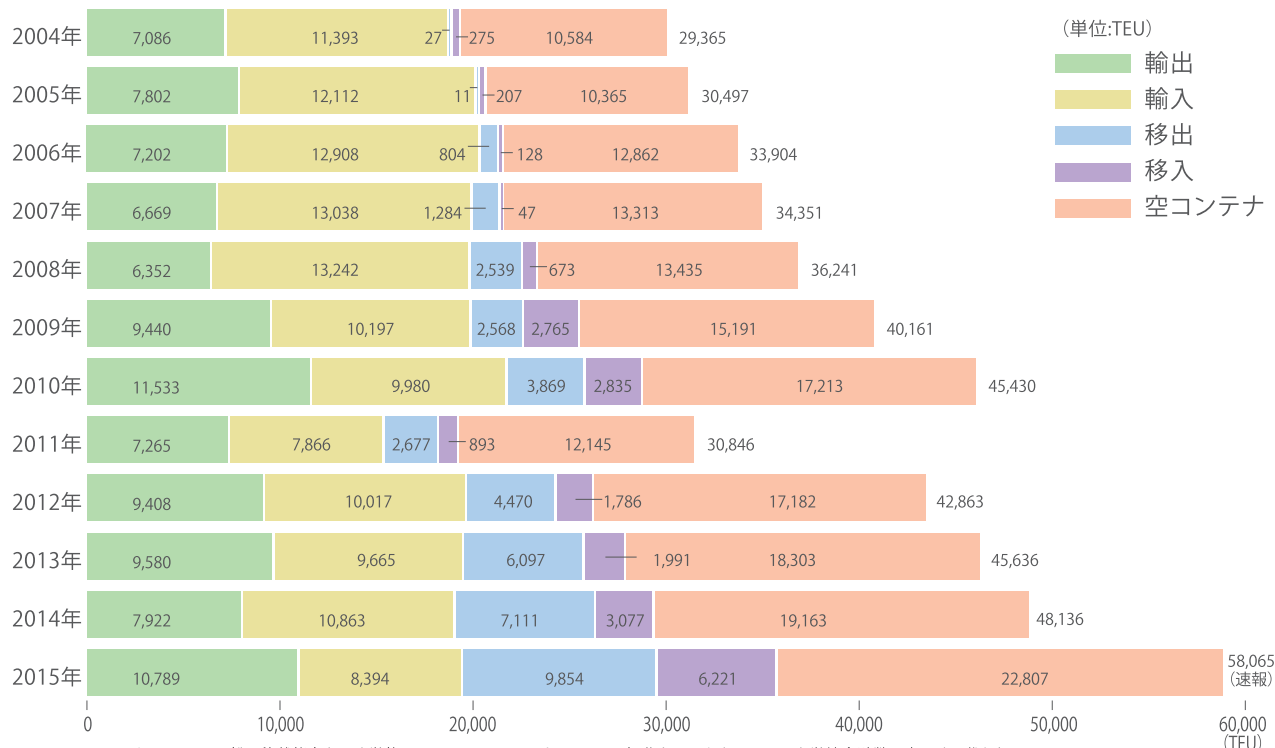
ロサンゼルス店でのフェアの様子

八戸港コンテナ貨物取扱量 過去最高記録を更新

八戸港コンテナ貨物取扱実績

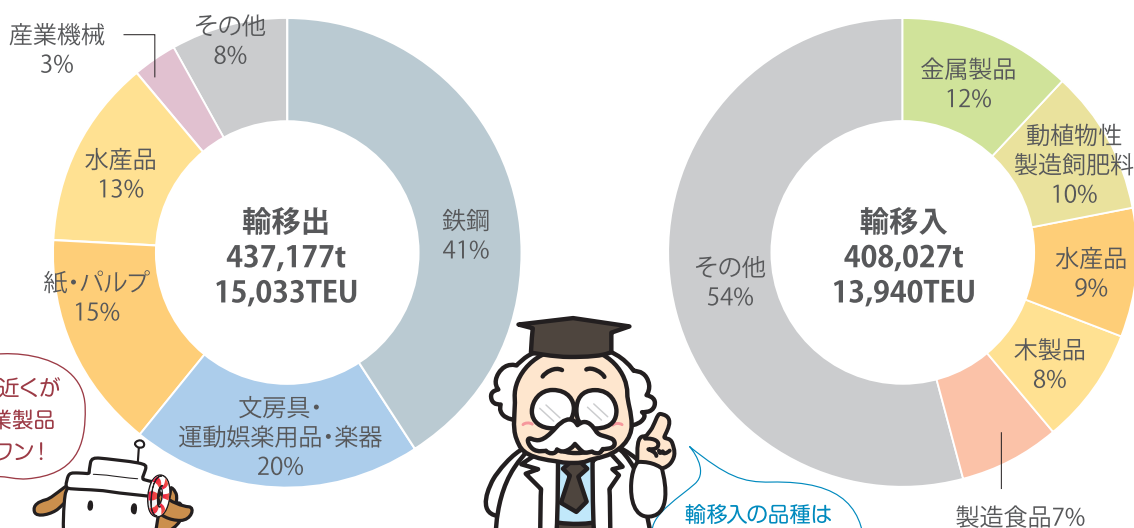
八戸港のコンテナ貨物取扱量は、2013年に東日本大震災前(2010年)の最高記録を更新して以降、順調に増加しております。

2015年の取扱量は、58,065TEU(速報値・空コンテナ含む)となり、前年を大きく上回りました。また、実入りコンテナの取扱量も、35,258TEUと過去最高を記録しております。



2014年 コンテナ貨物品種別内訳

2014年のコンテナ貨物の品種別内訳を見ると、輸移出では鉄鋼の41%、輸移入では金属製品の12%が第1位となっております。また、工業品に次いで水産品や食品の割合が多く、八戸市の産業の形を見ることが出来ます。



青森県八戸港管理所作成
「八戸港統計年報」より

海外販路開拓における登録と認証の事例

おく たかし
文/JETRO青森 所長 奥 貴史 氏

日本貿易振興機構 (JETRO)
青森貿易情報センター
TEL.017-734-2575 FAX.017-773-2877
〒030-0802 青森市本町1-2-15-5階

ジェットロ青森調べによると、2014年の青森県の農水産品輸出額（※林除く）は約156億円、そのうち水産物（約76億円）、りんご（約70億円）が全体の93.5%を占めています。八戸港は全国有数の漁港であり、イカやサバを中心とした水産物はその輸出で大きな一翼を担っています。

日本政府は、農林水産物（食品含む）の輸出額を2020年には1兆円規模とすることを目指し、国内市場が人口減少傾向にある中で、輸出振興に力を入れています。

海外取引で留意しなければならないのは、相手国の制度に準拠することです。例えば、EU市場に水産物（加工品）を輸出するには、「登録」と「認定」の2つが事前に必要条件として求められます。魚種にも拠りますが、水産物は、EU向けに「登録された漁船」と「市場」を経由して調達された魚（八戸はサバ）を「EU・HACCP認定施設」で加工して、初めて輸出できます。そのため、2015年に八戸港第3魚市場荷捌き施設A棟が国内初のEU対応市場として登録されたことで、将来的なEU市場販路開拓への足がかりとなりました。登録漁船と、結節点となる市場がEU向けに登録されたことにより、サバの加工品を対象としたEU・HACCP工場の認定（2016年2月）に繋がったといえます。いずれにせよ、認定施設や必要な登録がないとEUには水産加工品の輸出が出来ないのです。

2014年の水産庁の資料に拠れば、世界のEU・HACCP認定施設数は、米国が1,029、カナダが644、中国が634、ベトナムが448、タイが271、インドネシアが180、日本が29でした。現在、厚生労働省の他、水産庁も施設認定を行うことになり、2016年3月時点の日本では水産庁認定の7施設と合せて合計44施設で、この施設数こそが各国からのEU向けに輸出できる総量の上限になっているともいえます。

現在、青森県内には、陸奥湾東部海域（登録海域）のホタテ加工品に関してはEU・HACCP認定施設が4つあり、そのうち3つが2015年に認定されました。北海道と共に青森がEU向けホタテの輸出を担っていますが、青森はEU向けホタテ輸出のパイオニアであり、EU・HACCP認定も関係者の様々な苦勞の末に魁として取得しています。ホタテの場合、養殖海域が登録され、貝毒や登録海域の水質等がEUの基準値以下であることを確認する衛生検査（モニタリング）を所管自治体（県）の管理の下で行う必要があります。モニタリングが行われている時期の登録海域のホタテのみが認定工場で加工されて、EUに輸出できます。米国でもHACCP対応が求められますが、EU向けは「登録」というところが、輸出の難易度を上げています。

さて、一方のりんごの話。2015年9月17日にベトナム政府は、検疫条件を設定の下で日本産りんごの輸入を解禁しました。2015年は、青森産りんごが約20トンテスト輸出され、ベトナムのイオン（系列含む75店舗）で販売されました。店舗関係者のコメントでは、安全安心の意識の高まりから、日本産りんごへの期待も高く、品質や味への評価も上々とのこと。実質ほぼ青森産である日本産りんご輸出の9割以上が台湾と香港向けで占められている中、ベトナムも新たな海外販路として期待されています。

ベトナムの植物検疫条件を基にりんごが生産されるのは2016年からとなります。具体的には、有袋栽培のりんごが前提で、ベトナム向けに生産園地を登録し、登録選果場での輸出梱包も含めた「トレーサビリティ」が求められるだけでなく、原則、輸出初年にはベトナム側の査察団受入も必要になっています。手間のかかる有袋栽培のりんごは、生産が減少傾向にある中で、どの程度ベトナム向けに生産園地登録されるのかが、今後のベトナム輸出のスタート地点になっています。

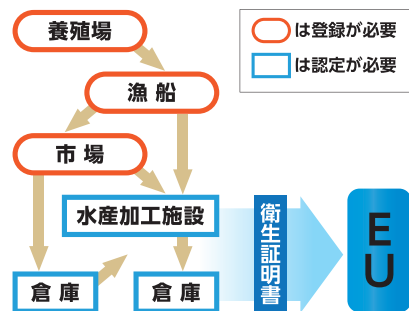
国ごとの制度の違いに加え、世界的な安全安心意識の高まりから、輸出に際しては認証や登録が求められるようになってきました。海外販路開拓を行う上で、海外市場の制度把握は、マーケティング同様に益々重要になっています。政府間交渉も重要で、輸出を伸ばす上での課題点があれば、具体的事例をジェットロや自治体・政府などにお伝えいただき、具体的な交渉材料としてもらうのも大事です。また、ジェットロでは、米国食品安全強化法などを含む海外制度解説のセミナーを開催しているほか、無料の貿易投資相談も行っておりますので、是非、お気軽にお問い合わせください。

<https://www.jetro.go.jp/jetro/japan/aomori/>

EU向け輸出支援の背景

EU向け、日本産ホタテ輸出体制

水産食品のEU輸出へのフロー



水産庁資料より抜粋



八戸港コンテナ定期航路就航状況 (2016年3月現在)

□ 外航 □ 国際フィーダー

コンテナ航路	船社名(日本総代理店)	集荷代理店	寄港間隔	寄港地
中国・韓国航路	南星海運(株) (南星海運ジャパン(株))	八戸港湾運送(株)	週2便 (水・金)	(NCJ航路) 釜山→釜山新港→新潟→苫小牧→釧路→ 八戸(水) →仙台→釜山→蔚山→光陽→天津新港→大連→青島→釜山
				(RBS航路) 釜山→釜山新港→新潟→函館→苫小牧→釧路→ 八戸(金) →酒田→釜山→蔚山→光陽→上海→寧波→釜山
韓国航路	長錦商船(株) (株)シノコー成本	八戸通運(株)	週1便(火)	釜山→仙台→ 八戸(火) →苫小牧→石狩→酒田→秋田→釜山→釜山新港
北米航路	Westwood Shipping Lines (センワマリタイムエージェンシー(株))	八戸港湾運送(株)	休止中	シアトル・バンクーバー・釜山ほか
国際フィーダー航路	横濱コンテナライン	八戸通運(株)	週1便(金)	横浜・仙台・宮古・苫小牧
	井本商運(株)	八戸港湾運送(株)	週1便(金or土)	京浜・苫小牧・仙台
	鈴与海運(株)	八戸港湾運送(株)	週1便(金)	清水・横浜・東京・苫小牧・大船渡

主な寄港地と八戸港の所要日数(最短)

(2016年3月現在)

寄港地	輸出	輸入	寄港地	輸出	輸入
釜山(韓国)	3	4	タンジュンプリオク(インドネシア)	16	16
光陽(韓国)	5	※	ムンバイ(インド)	25	25
蔚山(韓国)	5	※	ポートクラン(マレーシア)	18	18
基隆(台湾)	10	6	ドバイ(UAE)	28	22
台中(台湾)	15	7	タコマ(米国西岸)	21	21
高雄(台湾)	12	12	ロングビーチ(米国西岸)	16	18
香港(中国)	9	14	シアトル(米国西岸)	21	21
大連(中国)	10	11	ニューヨーク(米国東岸)	29	22
青島(中国)	11	10	バンクーバー(カナダ)	23	19
上海(中国)	7	9	ブリスベン(オーストラリア)	31	21
天津新港(中国)	9	12	オークランド(ニュージーランド)	40	28
寧波(中国)	8	10	サウサンプトン(イギリス)	29	35
蛇口(中国)	16	13	ルアーブル(フランス)	30	35
シンガポール	17	24	ブレーメルハーフェン(ドイツ)	32	35
レムチャパン(タイ)	18	17	ハンブルク(ドイツ)	43	44
マニラ(フィリピン)	27	24	ロッテルダム(オランダ)	41	42
ホーチミン(ベトナム)	14	20	アントワープ(ベルギー)	41	49
ハイフォン(ベトナム)	13	15			

※光陽・蔚山(韓国)については、釜山にまとめた後に輸入されています。

八戸港ご利用のお問い合わせは次の各社へ!

海貨業者

八戸通運株式会社 海運部	TEL:0178-29-0202	FAX:0178-20-3281
八戸港湾運送株式会社 コンテナ事業部	TEL:0178-29-3177	FAX:0178-29-3119
新丸港運株式会社 営業部	TEL:0178-20-2321	FAX:0178-20-2353
八戸運輸倉庫株式会社 営業部	TEL:0178-28-2401	FAX:0178-28-6976
三八五流通株式会社 八戸区域事業所	TEL:0178-52-7755	FAX:0178-52-7751
日本通運株式会社 八戸支店	TEL:0178-20-3040	FAX:0178-20-3154
ナラサキスタックス株式会社 八戸支店	TEL:0178-21-6000	FAX:0178-21-6050

海運会社(国内総代理店)

南星海運ジャパン株式会社【東京都】中国・韓国航路	TEL:03-5843-6100	FAX:03-5843-6110
株式会社シノコー成本【東京都】韓国航路	TEL:03-6278-6032	FAX:03-6278-6038
センワマリタイムエージェンシー株式会社 北米部【東京都】WSL:北米航路	TEL:03-5733-7203	FAX:03-5733-7208
株式会社横浜コンテナライン【横浜市】国際フィーダー航路(横浜)	TEL:045-450-4131	FAX:045-461-2181
井本商運株式会社【神戸市】国際フィーダー航路(京浜)	TEL:078-322-1600	FAX:078-322-1625
〃 【東京営業所】	TEL:03-3593-3911	FAX:03-3593-3918
鈴与海運株式会社【静岡市】国際フィーダー航路(京浜)	TEL:054-354-3100	FAX:054-354-3102
〃 【東京営業所】	TEL:03-3432-7159	FAX:03-3432-0896
インターエイシアライン株式会社【東京都】東南アジア航路(横浜港トランジット)	TEL:03-3580-6555	FAX:03-3580-6575
ジャパン・パン・ラインズ株式会社【東京都】小口混載貨物サービス(輸出)	TEL:03-3434-9411	FAX:03-3434-9410

北東北の 国際物流拠点港 「八戸港」



八戸港保安委員会及び八戸港危機管理コアメンバー会合は、2015年10月20日、八太郎3号埠頭において「埠頭・水域及びテロ対策訓練」を実施しました。

訓練は、八戸港管理所、八戸海上保安部及び八戸警察署など27機関約90名の参加により行われ、陸上では不審者を制限区域のゲートで出入り管理する保安要員が発見し、関係機関へ通報、駆けつけた八戸警察署員が取り押さえる訓練、海上では、不審船を海上保安部巡視艇や県警本部警備艇が追跡・捕捉する訓練を実施したほか、フェリー「べにりあ」の船上では、潜伏していたテロリストの捕捉訓練、炭そ菌を発見・回収する訓練等を実施しました。

今後も、八戸港を安心してご利用いただけますよう、保安の向上と危機管理体制の強化を図っていきます。



不審者を捕捉する八戸警察署員



警備艇みちのくらのによる検挙

青森県 三八地域県民局 地域整備部 八戸港管理所
TEL:0178-21-2280 FAX:0178-21-2370



八戸港国際物流拠点化推進協議会 Hachinohe Port Promotion Commission

〒031-8686 青森県八戸市内丸一丁目1-1 八戸市庁別館5階 八戸市商工労働部産業振興課内

TEL.0178-43-2111 (代表) TEL.0178-43-9244 (直通) FAX.0178-43-2256

<E-mail> hppc@hi-net.ne.jp <ホームページ> www.hi-net.ne.jp/~hppc/